

月刊島民

中之島

Vol.92 2016 3/1

●iPadサイズ(と、紙と同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン

となりの五代友厚



ナカノシマ大学

「五代ナイト
in 大阪企業家ミュージアム」

宮本又郎

申し込み受付中!

大阪と生きた、 五代友厚の十八年。

すぐとなりに、
彼はいました。

取材・文／江口由夏(本誌) 取材協力／大阪企業家ミュージアム 参考文献／宮本又郎『商都大阪をつつた男 五代友厚』(NHK出版) 肖像画像提供／国立国会図書館



おいも立派な
島民じゃ!

大阪・川口 に赴任 (慶応4年・1868)

川口運上所(税関)に参加
職外国事務局判事として1
年間在勤。陸奥陽之助(宗
光)と共に外国貿易関係の
事務を扱い、不正には厳格
に対応し、諸外国が安心して
交易できる港を維持した。
写真提供／国立国会図書館

外国人居留地を整備 (明治元年・1868)

「天下の台所」大阪での経済効果を諸
外国から期待されていると知り、大坂船
手という船舶の監視を行った屋敷跡を
整備。しかし川口は大型船舶が出入り
しやすい神戸にお株を奪われてしまう。

五代の大阪プロデュース絵巻

世界に大阪を売り込め!
貿易都市の基礎づくり。

五代の大阪での赴任先は、大阪と世界をつなぐ窓口川口。密輸などを取り締ま
る中で、大阪港の発展が必要と考えた彼は、外国船の停泊所や外国商人の居住地、
彼らを接待できるような歓楽街の整備を急ピッチで進めた。五代は、かつて物資の
集積地だった大阪を、今度は世界に通用する貿易都市にしたいと考えていた。



現在放映されているNHKの
連続テレビ小説『あさが来た』を火付け役に、
その生涯や業績が改めて注目されている実業家・五代友厚。
慶応4年(1868)に大阪へやって来た後、
明治18年(1885)に亡くなる直前まで大阪の発展に尽力した。
「大阪の恩人」と呼ばれる彼は、
果たして何をもたらしたのだろうか。
中之島界限に残る功績の数々をたどりながら、
近代大阪をつくりあげたその手腕を探ってみよう。

大阪商工会議所蔵

◎この方にお聞きしました

「あさが来た」の時代考証も手がける

宮本又郎さん

(大阪企業家ミュージアム館長・
大阪大学名誉教授)



五代

代表友厚と大阪の関係は、明治新政府の設立後に始まった。

政府役人として大阪に赴任した五代は、外国知識と外交センスを買われ、開港業務や諸外国との折衝業務を任せられることになる。これをきっかけとし、五代は「大阪の恩人」と言われるまでに、まちの発展につながる多彩な事業を展開していくのだが、まずは当時の大阪の様子から見ていこう。

日本経済史研究の第一人者である宮本さんは「幕末から明治にかけての大阪は、商人にとって厳しく試練の時だった」と教えてくれた。

五代がやって来た当時の大阪は「天下の台所」と言われた江戸時代の大阪より相対的に経済が落ち込んでいた時期です。長期的な要因としては、関西

大阪活版所開設を要請 (明治3年・1870)

これからの時代は英和辞典の刊行が必要と考えた五代は、長崎で知り合った通訳者の本木昌造に活版所の必要性を主張。本木に融資をし、日本初の活版所を開かせた。



関西貿易社を設立 (明治14年・1881)

住友家総理代人だった広瀬幸平ら有志と、清国への直輸出貿易を目的に設立。しかし、北海道開拓使官有物の払い下げを受けようとしたことから、政争に巻き込まれることになった。

松島に遊郭を設置 (明治2年・1869)

川口居留地の外国人を接待するため、市内の遊郭が集められた。当時は東の吉原と並ぶほどの活気で、最盛期の大正10年(1921)には、4,000人も女性が働いていたという。写真提供 / 大阪市立中央図書館



大阪商船会社開業に関与 (明治17年・1884)

乱立する小さな汽船会社や個人船主は無駄な競争を生み、海運業界は混乱していた。そこで五代は広瀬幸平と船主たちの意見を苦勞して取りまとめ、2年越しに大阪商船が誕生した。写真提供 / 大阪府立中之島図書館



大阪通商会社・ 為替会社設立に奔走 (明治2年・1869)

政府は全国主要都市に半官半民の通商商社とそれに金融をつける為替会社をつくり、開港場での外国貿易を管理させようとした。五代は大阪の豪商たちを説得し、大阪通商会社と為替会社の設立を導いた。

の先進的な生産力が地方に拡散されていったこと。例えば、醤油はもともと和歌山や小豆島の特産だったのに、江戸時代後半になると千葉の銚子や野田が有名になってきた。熱帯性植物の木綿や菜種油の生産も西日本の特権だったのに、技術が伝播したり改良が重ねられて東日本でも生産が可能になった。短期的な要因はいくつかあり、ひとつは蔵屋敷の廃止で大名相手の商売がなくなってしまうこと。大坂豪商として名高い加島屋や鴻池が典型的な例ですね。おまけに、大名に貸し付けていたお金の返済を肩代わりした新政府は、借金を踏み倒して十分に返してくれなかった。また、新しい通貨制度導入のため、西日本で主として使われていた銀貨の貨幣単位(銀目)の廃止も混乱を招いたと思います。大坂の名だたる商家がドミノ倒し状に衰亡していききました。当時の大阪の人口が大きく減少していることから、経済が落ち込んでいたことがわかります。

一大経済都市にやって来たと思った意外に衰えていて、さぞ五代は驚いたでしょう。大阪赴任より前に、彼は薩摩藩宛てで富国強兵の案を送っていた

薩摩や長崎など青春期を過ごした場所が、五代の視野を広げた。



るのですが、書面には「大坂で商社をつくるべし」や「川口の港には船が集まっている」と記され、大坂がビジネスの中心だとは認識していたようです。市内には「薩摩堀」という地名が残るくらい、薩摩の特産品である砂糖や鰯節の取引が行われていたし、蔵屋敷も3つもあった。そもそも、五代の主君だった島津家は大阪の住吉大社にルーツがあるそうですよ。

大阪の落ち込みぶりに驚きつつ、五代は商人たちの財力や影響力を知っていたはずですから、その能力を利用しない手はないと思ったのでは。大阪が立ち直れば、日本経済の発展につながると考えたのでしょう。

「お家一番」の豪商たちを 団結させた功績。

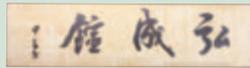
大阪経済が停滞していたのは、商人たちが保守的だったというのも一因です。皆お金を持っているから、危ない時は行動を起こしたくない。五代の大きな功績は、そんな富豪たちを説得して「皆で一致団結しましょう」と会社を設立したところだと思えますね。加島家も住友家も、江戸時代のビジネスはそれぞれの家のビジネス。五代はもうそんな時代ではない、逆に手を取り合うことが家を守ることだと説いた。五代は「商社合力」という言葉をよく使いました。この商社は複数の人々

幣制統一を主張。 鉱山開発を先駆ける。

大阪に赴任した翌年、横浜に転勤を命じられた五代。大阪で起きた留任運動に官職を退く決意をし、民間実業家として生きる道を選ぶ。まず取り組んだのは、政府にいた時に成立した造幣寮の稼働に向けての事業だった。海外で仕入れた精錬技術を活かして成功し、次に手を広げた鉱山経営も実業家としての名を上げた。

金銀分析所の設立 (明治2年・1869)

大阪豪商の土地を買い上げ工場化。五代は各種貨幣を分析し、溶かして地金を取り出した。2年後の造幣寮稼働を見越し、この地金を造幣寮に納めるという役割があった。



弘成館を創立 (明治6年・1873)

鉱山業は瞬く間に26ヶ所もの鉱山の管理が必要になり、大阪における鉱山経営の拠点として設立された。扁額・史料写真提供 / 大阪商工会議所

造幣寮の稼働に尽力 (明治4年・1871)

五代は懇意だった英国商人のグラバ一の仲介で、進んでいた英国の造幣局の機械を購入。欧米式貨幣の製造に成功した。現在、造幣寮は旧桜宮公会堂(重要文化財)になっている。

大阪豪商に指南し、 かつての金融都市を再生。

大阪で先頭に立って活動をしていた五代は、一番は家単位のビジネスが基本だった大阪人たちが協力し合うことだと、強く豪商たちに呼びかけた。停滞していた大阪経済を回すためには、新しいビジネスを導入すべしと、意見交換を行っている民間経済団体を設立。あくまで商人たちを主役に、裏方としてお膳立てをした。



が資本を合わせることで、つまり株式会社のことです。同時代に活躍した実業家に渋沢栄一がいますが、彼が提唱した「合本主義」と同じ意味合いを持っていると思います。五代はイギリス、渋沢はフランス。二人ともヨーロッパでこの概念を学んできました。現地では、その考えが一般的になりました。現地では、その考えが一般的になりました。現地では、身につけたばかりの考えを實踐できる舞台でもあったわけです。

渋沢と五代という、 東西プロデューサー。

「東の渋沢、西の五代」。そんな言葉があるくらい、この二人は近代大阪発展の立役者として欠かせない人物です。両者とも多彩な事業に携わったプロデューサーといえますが、元来の考え方や活躍した土壌の関係で、やはり異なる部分もあります。

手がけている主な事業から見ると、渋沢栄一は新しいもの好きだったと思います。彼は、ヨーロッパで発達したものを日本に取り入れようとした。銀行や鉄道、紡績などちよつと華やか。一方で五代は、古くから日本にある両替商や鉱山、製藍

「日本資本主義の父」渋沢栄一。
京阪電気鉄道創業にも携わった。



など。五代は銀行はつくっていないんですよ。大阪商法会議所（現在の大阪商工会議所）でも五代は昔ながらの手形取引を再興したいと主張するのですが、アメリカやヨーロッパの銀行システムに比べて古くさいと洪沢らに反対されて負けてしまう（笑）。日本の両替商システムもまだまだ使えると考えていたんでしょうね。

また、洪沢が活躍した東京は、新しいものを取り入れやすかった土地でした。逆に大阪は、古くから栄えた文化があるだけに、新しい考え方が受け入れられにくい。いきなり取り入れては混乱が起きてしまう。洪沢と五代の違いは、古い家を立て直すか、修繕しながら使うかということですね。立て直したほうが早いし、修繕しながらではかえって時間がかかってしまうんですが、五代はそちらを選んだ。その利点は、同じ場所に住み続けることができるんです。壊したら、どこかに移転しなくてはいけない。だから、どちらのやり方がいいかというのは難しい問いですね。五代は大阪商人の支持も得ていましたから、彼らの利害を考えて、この方法を選択したんでしょう。

本来、大阪商人たちは薩摩藩や長州藩に借金を踏み倒されているから恨んでもいいはずなのに、慕われていた五代はよっぽど人好きのする性格だったのかも知れません。

大阪株式取引所を設立 (明治11年・1878)

現在の大阪取引所のこと。明治11年(1878)の株式取引所条例発布を待ち、時を見極めていた五代は鴻池や住友らとともに発起。北浜＝金融街という認識は後世まで残った。写真提供／大阪市立中央図書館



大阪商法会議所を設立・初代会頭に就任 (明治11年・1878)

現在の大阪商工会議所にあたり、当初は朝陽館(P6)内に設立された。五代は亡くなるまで初代会頭を務め、現在の大阪商工会議所横には銅像(左)も建つ。また商業発展を願い、数地内に稲荷神社を建立した。写真提供／国立国会図書館



優れた都市は人材から。 若手の教育にも着手。

多様な事業展開にもみられるように、幅広い交友関係で知られる五代は、若手の育成にも私財を投入するほど熱心だった。彼は大阪赴任以前から面倒みもよく、若き留学生たちを率いて欧州の産都市視察も行っていただけに、近代都市大阪の未来には商工業の知識が必要不可欠と見きっていたのだらう。



大阪商業講習所を創設 (明治12年・1879)

現在の大阪市立大学。大阪商人の子どもたちに新しいビジネスの考え方を根付かせることが目的で、創設時から生徒数60名を超える人気があった。講座内容は簿記・算術・経済など。

人を結びつける 能力に長けていた五代。

五代の息がかかった会社は多いのですが、どれも五代自身の会社ではないんです。彼はオーガナイザー（まとめ役や発起人）としての関わりがほとんど。自身はお金も持っていなかったです。明治8年（1875）に開かれた大阪会議（P8）に代表されるように、触媒役・仲介役として人を結びつけて事が円滑に進むよう努めていました。株式会社が時代に必要なのはわかっているのに、技術やお金を持っている人を集めてくるのが上手かったですね。非常に人望がないと、できないことです。逆に、大阪でもあまり名が知られていないのは、表立って経営していたわけではなかったからかもしれません。現在における洪沢と五代の知名度の差は、五代が早くに亡くなってしまったこともあるでしょう。

五代が目指していたのは、かつての商業・金融都市としての大阪を再生させること。一生懸命取り組んでいたのは、貿易です。国内商業の中心地から、海外貿易の中心地しよう。ただ、大阪築港事業が失敗してしまったので、夢半ばになってしまいました。長生きしていれば、次は近代産業に目を向けて、工業都市としての大阪を目指していたでしょう。それでも、商法会議所

や証券取引所、大阪商業講習所（現在の大阪市立大学）など、今でも残る経済の基礎をつくったのは大功績です。

一方で、渋沢は明治15年（1882）に大阪紡績会社を設立しました。この成功が、近代大阪が「東洋のマンチェスター」と呼ばれるまでになった土台をつくり上げました。面白いのは、この時に渋沢が組んだのは松本重太郎や藤田伝三郎など、外から大阪にやって来た新興の企業家なんです。これに対して、五代はやはり鴻池や加島屋などの大阪商人を大事にしたうえで、新しいビジネスを始めようとした。大変なことだったと思います。

五代自身は、経営は上手くなかったかもしれませんが、私心がない人は、経営に向いていないんです。五代は最後の最後で失敗してしまっ、ややおっちょこちよいなところがありますね（笑）

渋沢はその点、「このままでは危ない」と思うと、事業から撤退できる性格だった。加島屋も、そういう面です。つまり、しっかりしていたようです。ドラマの中でも、あさが宇奈山藩にお金を回収に行くシーンがありました。義理や人情だけでお金を貸し付ける両替商は失敗してしまいます。

米に製藍……。国内産業を再興。

五代は、グローバル化の波に置いていかれそうなる国内産業をあえて復活させようとした。また、「大坂商人」という歴史ある存在を尊重したうえで、大阪らしく発展する方法を編み出している。欧米的な考えの実業家に反対され実現しないこともままあったがその姿勢は新時代に氣後れしていた大坂商人たちを勇気づけたはずだ。



高麗橋の鉄材を輸入 (明治3年・1870)

大阪初の鉄橋として、大阪活版の祖である本木昌造が設計し、五代がロンドンから手配した輸入鉄材を用いて架け替えられた。残念ながら橋柱碑に五代の名は残っていません。写真提供／大阪市立中央図書館

堂島米商会所を再興 (明治9年・1876)

豪商・淀屋が開いた米市場が、明治政府によって明治2年（1869）に閉鎖。しかし米穀取引機能の衰退を懸念して起こした運動が実を結び、五代らが堂島米商会所として再興した。写真提供／大阪市立中央図書館



大阪製銅会社を発起 (明治14年・1881)

貨幣の素材調達から鉱山経営に力を入れていた五代は、やがて製銅にも手を広げた。株主には三井・鴻池・住友・広瀬幸平がいたが、あまり成果は出なかったようだ。

朝陽館を開設 (明治9年・1876)

伝統産業ながら、安いインドの輸入藍に圧されていた国内産藍。外国の製藍技術を輸入することで、五代は盛り返しを画策して成功。明治10年（1877）には明治天皇が行幸した。扁額写真提供／大阪商工会議所



上げ晴れの日に傘を差し出す」と言うでしょう。五代は雨の日にこそ、たくさん傘を気前よく貸してあげたと思えます。「大阪の恩人」と言われるぐらい、恩義をこらむった人々が多かったんでしょうね。

みやもと・またお

1943年、福岡市生まれ。関西学院大学客員教授、放送大学客員教授。著書に「日本企業経営史研究―人と制度と戦略と」「有斐園」など多数。日本経済史の研究で知られる宮本又次氏は父にあたる。

◎五代友厚と広岡浅子の関係もわかる、宮本先生の新著がこちら。

「商都大阪をつくった男 五代友厚」宮本文郎（NHK出版／1404円）

「あさが来た」の中でも、大阪経済界に寄与した五代友厚、ヒロイン・あさを取り巻く世界ではどのようなことが起きていたのか？ 幕末・明治半ばにかけて五代の手腕により再興した大阪を追う。



骨を埋めるのも大阪で。 五代友厚の「聖地」。

来阪して亡くなるまでの18年、五代は備後町や現在の北浜4丁目、大阪科学技術センターのあたりなど、全部で6度引っ越ししている。亡くなる年には現在の日本銀行大阪支店の場所に新しい邸宅を建てたが、病が悪化。東京で療養することになり、そのまま帰らぬ人となってしまった。だが棺は葬儀のため、はるばる中之島の五代邸まで運ばれた。葬儀には4,000人以上の弔問客が集まり、彼は阿倍野墓地に葬られた。





五代ロスでは いられない 五大NEWS

1 安心してください。 大阪企業家ミュージアムで会えます。

大阪企業家ミュージアムでは、大阪商工会議所の初代会頭だった五代を講義、展示がある105人の企業家のトップバッターに五代を紹介。常設展示なのでいつでも見に行くことができる。

大阪企業家ミュージアム

入館料は大人300円、中・高・大学生100円、小学生以下無料

☎06-4964-7601 10:00AM~5:00PM(水曜のみ~8:00PM)

※入館は閉館30分前まで 日・祝・祝日 <http://www.kigyoka.jp>



2 「加島屋本家」の石碑建つ! 大同生命の特別展示へ。

昨年の「豪商」特集でご紹介した、肥後橋南詰にある大同生命大阪本社。創業者である加島浅子が朝ドラのヒロインのモデルになったとあって、特別展示の力入れよは段違いだ。ヴォーリス建築の美しさも一緒に味わおう。

大同生命保険株式会社 特別展示

「大同生命の源流`加島屋と加島浅子。」

入館無料 日曜・祝日休 ☎06-6447-6111 10:00AM~5:00PM(水曜~7:00PM) ※入館は閉館時間の30分前まで・月曜は団体貸切日(要事前予約)

☎06-6447-6263 <http://www.daido-life.co.jp>



3 京阪電車・渡辺橋駅は、 『あさが来た』仕様でお出迎え。

いよいよドラマもクライマックス。大同生命大阪本社の最寄り駅である京阪電車・渡辺橋駅には、明治時代に突入し、着物と日本髪から洋装へ変わったヒロイン・あさの特大ポスターが、豪商の若奥さん像から一転、1人の実業家らしい気概が感じられる。



4 百間は一目にしかず。 まち歩きツアーで聖地巡礼。

2008年に大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会が発足させた「大阪あそび」は、歴史的なテーマに沿って大阪をまち歩きできるガイドツアー。4月3日(日)や17日(日)などは、市内における五代友厚や加島浅子ゆかりの地をめぐるコースがあり、この春はぞくぞくと増えていく予定らしい。詳しいツアー内容や申し込み方法は、ホームページを要チェックだ。 <https://www.osaka-asobo.jp>



5 大阪的作家が描く、大阪の恩人。 織田作之助『五代友厚』が文庫化。



中・島ともゆかりが深い作家・織田作之助。昭和17年(1942)、戦時中の厳しい検閲にスランプに陥りながらも伝記物に挑戦。「大阪の恩人」と言われながらも伝記がつけられていなかった五代友厚を題材にした。この1月、その作品が文庫化。これもオダサクもびっくりな朝ドラの反響なのだろうか。

織田作之助『五代友厚』
(河出文庫・670円)



NHK 大阪放送局
エグゼクティブ・プロデューサー
佐野元彦さん

「あさが来た」総合プロデューサーにインタビュー!
平成によみがえった五代。

取材文／江口由夏(本誌)

「こんな人がいた」と、
絶対に伝えたいかった。

入局して32年、こんなに大阪らしいドラマを制作したのは初めてです。資料を求めて大阪府立中之島図書館や大阪市立中央図書館を訪ね、原案である「小説土佐堀川」と出合いました。素直に「こんな人がいたんだ」と驚きつつ、加島浅子は女性が前線でいきいき働く平成にびつたりのヒロインだと確信しました。2008年に大河ドラマ『篤姫』の制作統括を務めたことがきっかけで、幕末を生きたくまじ

い女性を再び描きたいとも思いました。五代友厚は、浅子が生きた時代を勉強する中で浮かび上がってきた人物でした。これまで五代のイメージが固定されるほどの映像作品はなく、だからこそ五代の存在を絶対に伝えなくてはと思って、ディレクションオカさんをキャスティングしたのも、日本の方によく知られていない俳優に演じてもらいたかったから。まさに新時代の大阪へ現れた薩摩藩士の五代のように。あさと違い、史実の人物は時代考証が難しい。史実や原案での浅子と五代のやり取りは少ないのですが「当時の経済界で二人が会っていないわけがない」と、時代考証の先生方に勇気づけられて多めに出生しました(笑)

インさん演じる五代が、そのまま五代像になるかはわかりませんが、少なくとも五代友厚自身が語り継がれるきっかけになったことが嬉しいですね。



撮影前に膨大な資料を読み、五代の銅像前へ通ったディレクションさん。五代が早世すると知った視聴者の反響もすごかった。

「大阪の恩人」の素顔に迫る

五代友厚、となりの証言。

朝ドラ「あさが来た」で、五代さんが話題になっています。実感はありますか？

ビジネススマンちゅうとが昔の北浜には多かったが、店も増えずいぶん人通りが変わつちよつど。こん場所立って12年になつどん、こげんに女性が会いに来るのは初めてでこわんど。まるで生前を思い出す…いや、なんでもございもはん。みんなおいと写真撮つて帰る。昨年はもう一人のおい（ティーン・フジオカさん）が何度も会いに来たど。

大阪企業家ミュージアムで昨年から行われていた特別展は、かなりの反響があったようで、延長もされたんですよ。

生前は大阪をどげんしよかいということばかり考えちよつた。少しでもおいが残したものや、大阪が持つちよい宝に興味を持つてもろとは嬉しいこと。おいも大阪商人に興味津々じゃつて、大阪を元氣にしたかった。

五代さんは人脈がすごいことでも知られますが、今日は何人かのご友人をお呼びしているんです。

おお、そういえば同郷の西郷（隆盛）どんいわく、



鹿兒島への旅行者が多なつたと聞いた。大阪駅前ビルの中に鹿兒島県大阪事務所があるそうだが、おいに関係した間い合わせが昨年から増えたそうだ。まあ、鹿兒島には記念館があつて。大久保（利通）どんも合わせた「薩摩の三才」で、ユニット言いちよつとか？ デビューせんなら。



武勲派の西郷と、文勲派の五代は、不仲だったと言われている。

土佐堀通を隔てたビルより。

五代友厚像が建つ大阪取引所ビルからほど近く、明治の偉人たちを刻んだレリーフが、料亭「花外楼」横のビルに掲げられている。明治8年（1875）に、花外楼が大阪会議の開催地となったことを顕彰するものだ。

大阪会議では、方向性の違いから分裂し、官界から去った木戸孝允や板垣退助らを、再び呼び戻す目的があった。政府のトップだった大久保利通は、すでに役人から実業家になっていた盟友・五代に相談し、当時の五代邸（現在の大阪科学技術館）で、一ヶ月前から会談準備を始める。来阪した木戸を五代邸に迎えて一緒に暮を打ったり、大久保・木戸・板垣らを仲介したりと、五代は会議成功の要因となっていた。レリーフには登場こそしないが、五代はやはり影の功労者という役回りに徹していたようだ。



一番上から時計回りに、木戸孝允・板垣退助・井上馨・伊藤博文・大久保利通。

月刊島民が敢行したあの架空インタビューが、7年ぶりに復活！大阪取引所前で五代友厚さんの銅像に今の心境を伺った。今回は生前の五代さんをよく知る偉人たちをゲストに迎え、現代に残る史料を参考に、彼のとなりにいた瞬間のエピソードも教えてもらうことができた。

取材文／江口由夏（采誌） 肖像画像提供／国立国会図書館

文久2年(1862)に幕府から派遣された上海行きの船内で、『薩摩藩士が水夫のフリをして密航している』。それが才助くんでした。彼は上海を貿易拠点にすべきと考えていたようで、仲良くなった僕はやり取りを旅行記に書いていたんです。それから3年後も、脱藩したり偽名を使ってイギリスに密航したらいいですね



抜け目なく、密航留学する度胸があった。

◎となりの証言
高杉晋作さん
(長州藩士・奇兵隊隊長)

長崎遊学で英国商人のグラバーと知り合った才助は、高杉と出会う前にもグラバーと共に上海へ赴き、藩のために汽船を購入するなどしている。後に起こった薩英戦争を受け、彼は上海貿易を盛んにし、英仏に留学生を派遣すべしと藩に提案。慶応元年(1865)、15人の留学生の監督役としてイギリスを視察することになった。この時にマンチェスターという産業都市に目をつけ、「東洋のマンチェスター・大阪」実現につながっていく。また、この視察中に購入した紡績機械は、帰国して開かれた鹿児島・堺紡績所で活躍することに。



五代はおいの盟友じゃ。経済の話になると真面目なヤツじゃったが、女にはようモテた。今風に言うとプレイボーイか？ 松島の遊郭で外国人を接待しなくてはいけんからというのあいもすが、妾も5人以上、子どももたくさんあった。糖尿病で死んだとは酒のせいもある。若い頃から外国人相手にウィスキーやら飲んじよったで



モテまくったのに、身なりは二の次だった。

◎となりの証言
大久保利通さん
(政治家・「維新の三傑」)

五代の外見がわかる貴重な資料「明治富豪史」には、「服装などは一方向お構いなし、常着は(略)煙草の吸殻で穴だらけ」という記述が。また、「背丈のすらりとした、眼の鋭い、威厳のある男で、平常は冗談一ツ言わず、むっつりとした男」とも。ただ、経済の話になると饒舌になり、大久保には特に敬意を払っていたそうだ。



生まれながらのグローバル人材だった。

◎となりの証言
勝海舟さん
(政治家・「咸臨丸」艦長)

薩摩藩のあいつと江戸幕府にいた俺は、安政5年(1858)に長崎海軍伝習所で出会い、そこで3年間オランダ人から航海術を学んだ。まだ五代才助と名乗った頃で、藩からは大いに期待されていたようだぜ

天保13年(1842)、薩摩藩主のブレンだった父のもとに生まれた才助。家柄と頭脳ともにエリートで、その名も藩主が彼の才能を讃えて与えたという。12歳の時、父に命じられて世界地図を2枚模写し、1枚を藩主に献上。さらにその図を使って地球儀を製作。幼少より、日本を超えて世界を見据えていたようだ。やがてペリーが来航。日本にもグローバル志向の若者が必要になってきた。才助は藩から長崎遊学を命じられ、外国の文明に感銘を受けることとなる。



英国人も惚れこむ、交渉術を持っていた。

◎となりの証言
トーマス・グラバーさん
(英国商人・「キリンビール」参画者)

長崎にグラバー園ってあるデショ？ワタン住んでました。五代サン匿っていた家でもあります。文久2年(1862)に薩摩の人がイギリス人を斬って険悪になったとき、五代サンはイギリスと平和的に話し合おうと頑張ってました。捕虜になってしまいましたけど、釈放されたのは彼の交渉術が優れていたから。でも藩人にはイギリスのスパイになったんじゃないか、捕虜になって恥ずかしくないのかと追及されて、居づらくなったみたいデス

上海や英国への渡航、薩英戦争での捕虜経験を始め、外国人との交渉術を買われた五代。新政府の役人となって大阪に赴任した際も、その能力が見込まれた役職となった。グラバーとは、薩英戦争を経て薩摩藩とイギリスが懇意になった後も交流が深かった。先述した英国密航留学はグラバーの手配によるところが大きい。また、親日家のグラバーにツル夫人を紹介したのも五代だった。



あの坂本龍馬とも、外国との交渉や人材派遣などで付き合いがあった。

五代さんと
大阪のいい関係



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

◎今月の授業

【五代友厚】

2016年4月講座

「五代ナイト in 大阪企業家ミュージアム」

講師／宮本又郎

(大阪企業家ミュージアム館長／大阪大学名誉教授)



本町橋近くにある大阪産業創造館地下1階の「大阪企業家ミュージアム」。105人もの企業家の展示があり、閲覧できるデータベースに社史、自伝も約8,000冊以上所蔵している。

没後130年にして、空前の五代友厚ブーム。
いま、大阪企業家ミュージアムが熱い!

NHKの朝の連続テレビ小説『あさが来た』に登場し、スポットライトを浴びている五代友厚。ブームが来ている今だからこそ、なぜ彼が「大阪の恩人」と呼ばれているのかを改めて知りたい人が多いはずだ。

そこで今回のナカノシマ大学では大阪企業家ミュージアムの見学と、本誌にも登場していただいた館長・宮本又郎さんの登壇が実現。大阪の外からやって来た五代だからこそ見えていた大阪の底力と魅力、五代を取り巻く財界ネットワークなど、日本経済史研究の第一人者らしい話題が満載だ。また、朝ドラの時代考証に携わった裏話なども聞けるかもしれない。

なにしろ大阪企業家ミュージアムは、五代が初代会頭を務めた大阪商工会議所創立120周年記念に開設した場所であり、今一番訪れておきたいゆかりの地だ。宮本館長の講演後は館内ガイドツアーへ。スタッフの案内で、五代を筆頭に企業家たちのアイデア満載の人生を見て回ることができる。企業家たちの生涯をたどると同時に、大阪の変遷も学んで帰ろう。



いま五代友厚関係で
引張りだこの
宮本又郎先生が特別講演!



募集要項	「五代ナイト in 企業家ミュージアム」	お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。
	日時／2016年4月20日(水)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
	6:30PM～8:30PM(開場6:00PM～)	「ナカノシマ大学4月講座」受付係 FAX.06-4799-1341
	会場／大阪企業家ミュージアム	※先着順で受付後、 3月20日午後より 受講票をお送りします。
	受講料／2,000円(館内ガイド付き)	※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。※未成年の方のご応募はお断りいたします。※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。
	定員／80人	
	主催／ナカノシマ大学	
	協力／大阪企業家ミュージアム	

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

月刊島民「100号」 カウントダウンが 始まりました。

『月刊島民』は今年11月1日発行号を持って通巻100号を迎えます。
2008年8月以来の道のりは長かったようであつという間。
この間、中之島とその周辺を取り巻く空気や環境が大きく変わっていききました。

- 京阪中之島線が開業し、あちこちに「駅前」が誕生
- 大正、昭和の名建築の解体と新名所（フェスティバルタワー、ダイビル本館etc.）続々
- 八軒家浜の再興、北浜テラス、中之島バンク誕生など「水辺」活用が本格的に
- 「生きた建築ミュージアム」等で中之島・船場の近代建築群が観光名所として脚光を浴びる
- enoco、中之島漁港など「中之島の西エリア」にも新しい拠点が出来ました
- 有栖川有栖の小説『鍵の掛かった男』に月刊島民が実名で登場（手前味噌ですみません）

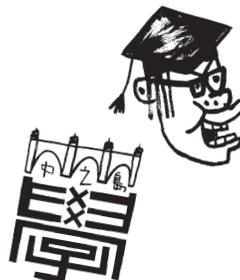
などなど、島民もこんな街の動きや読者の皆さんの反響をもとにもう一つ新しい動きをつくりたいと、翌年2009年にはナカノシマ大学をスタート。島民誌面とナカノシマ大学の企画を一緒にあれこれ練ってきました。そしていよいよ100号イヤーは……

1 特集もナカノシマ大学も、さらにパワーアップ!

その第一弾が今回の「五代友厚」特別講座（P10）。この先も「このテーマで特集ときたか!?!」「あの人が講師のナカノシマ大学!?!」というラインアップをこれでもかと押していきます。もちろん、11月発行の100号記念特集&ナカノシマ大学はぜひお楽しみに!



「あさが来た」が始まった時期に大同生命本社会議室で開催した「広岡浅子の“引力”と土佐堀川」。自作で浅子を重要な役として登場させた玉岡かおる先生が250人の受講生を前に熱弁を振るった



2 月刊島民&ナカノシマ大学生まれの本、まもなく発車!

月刊島民&ナカノシマ大学から生まれた本がこれだけありますが、この春、新たな仲間が加わります。突き抜けた陽気さと超身軽なフットワークで「鉄道」講座をエンタテインメントにした黒田一樹さんの著書『すごいぞ! 鉄道王国・関西（仮）』がいよいよ4月発売。あなたの沿線が載ります。えうご期待!



操車場にカメラ持参の人も、乗るだけで幸せな人も、きっと満足の本



おせっかい教育論
ナカノシマ大学キックオフセミナー「21世紀は街場で学べ」の公開座談会を元に編集した1冊。「金になる人材育成」へと教育を歪める風潮に対し、4人それぞれから危機感が伝わる。
鷺田清一／内田樹／釈徹宗／平松邦夫 1,200円＋税



大阪古地図バラダイス
近世から近現代へ、町人たちの商都が「世界有数の大都市」に変貌をとげる流れの中で「地図」は何を教えてくれるのか? 大阪の歴史をフィールド・ワークしつつ紐解く。付録地図が凄い!
本渡章 1,900円＋税



大阪の神さん仏さん
「神社」と「お寺」の超エキスパート同士が笑いを取りつつ突っ込みつつ、根源的な大阪人の宗教観もいつの間にか学んでしまっていた……という大阪らしいコミュニケーションを学びの本。
釈徹宗／高島幸次 1,500円＋税



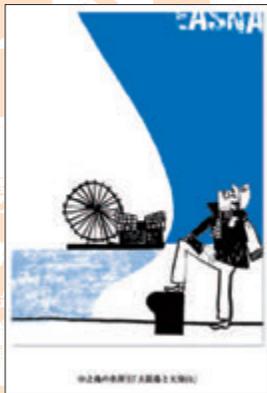
ブラック・ジャックは遠かった
「破裂」「悪医」などで知られる日本医療小説大賞受賞作家が、大阪大学医学部や阪大病院が中之島にあった時代の、「白い巨塔」とはまるで対極のふらふらした医学生の青春を綴る。
久坂部羊 1,400円＋税

じんわり広がっています。

会場や堂島浜の月刊島民プレス(140B)で販売していますが、以下のショップでも販売が始まりました。
大阪好き・奈路道程好きの皆さまに告知させていただきます。

1枚
180円

〈中之島の歴史シリーズ〉



⑨大阪港と天保山
2014年1月発行(第66号)

最近「坂本龍馬とおりがようが新婚旅行に旅立った地」としても売り出し中の天保山。2等三角点のある天保山山頂にも登ってほしい、夕日の名所「ダイヤモンドポイント」もお薦めです。



⑩三十石船
2010年4月発行(第21号)

歴史学者で繁昌亭「天神寄席」の世話人・高島幸次氏が「大坂の幕末」を執筆して初登場した号。「三十石」は六代目笑福亭松鶴、五代目桂文枝、三代目桂米朝のお得意ネタでした。



⑪八軒家浜
2011年7月発行(第36号)

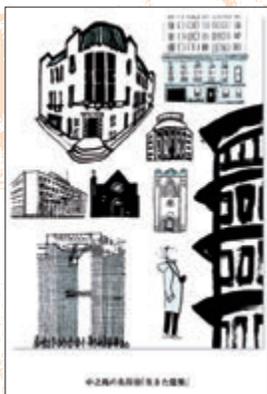
近世から近現代へと街が変わっていく中で、かつての「船着場」が蘇った顕著な例が天満橋西の八軒家浜。ここから船で逃出し、ここで船を降りて…と天神さんの対岸でドラマがありました。

〈中之島の偉人シリーズ〉



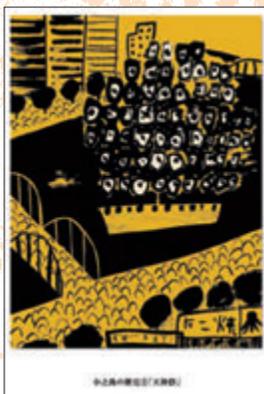
①菅原道真
2013年7月発行(第60号)

天神祭に合格祈願、天神寄席など、この人がいないと大阪人の暦は成り立たない。府立中之島図書館のドームには、世界の「八哲」としてソクラテス、孔子、シェイクスピアらと共に名を連ねている。



⑩生きた建築
2014年12月発行(第77号)

「生きた建築ミュージアム・コレクション」の中からスターを選択して表紙に。いくつか分かります? ちなみに、左上のおちよほ口のような顔はご存じ、船場・伏見町の芝川ビルです。



②天神祭
2010年7月発行(第24号)

神事が肅々と執り行われる御鳳麓奉安船(ごほうれんぼうあんせん)が供奉船(ぐぶせん)を伴って水上を進むと、すれ違う他の船は鳴り物を中断し、静かに神さまを見送る。大阪の夏です。



④浪花百景
2014年2月発行(第67号)

幕末の大坂で流行った、3人の絵師による錦絵ガイドブック。絵になる水辺の風景満載なのは今も昔も変わりません。鮮やかな色遣いの本物は大阪府立中之島図書館のHPから、ぜひ。



②大坂の陣
2014年9月発行(第74号)

奈路道程十八番の群像絵。よくよく見れば「真田丸」のメインキャストばかりという注目の1枚。大阪人にとっては悲劇の美丈夫・木村重成をいったい誰が演じるのか、という興味もますます募る。

1枚
540円



そしてシールも!

『月刊島民』の表紙絵とナカノシマ大学の校章(あるんですよ)がズラズラっと並んだシールは、スマホやスケジュール手帳、ナカノシマ大学用ノートにベタッと貼ってください。

島民表紙絵ポストカード

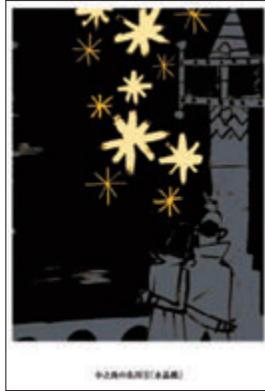
奈路道程氏による『月刊島民』表紙絵のポストカード16種が昨年4月に登場。毎月のナカノシマ大学発行元の予想を上回る好評さで(ありがとうございます)、あらためて島民好き・

〈中之島の名所シリーズ〉



①大阪市中央公会堂
2009年12月発行(第17号)

川の南北両岸からも、正面(東側)からも絵になる島民いや大阪人のキング・オブ・シンボル。島民が10周年を迎える(はずの)2018年には開館100周年と二重の縁起よしです。



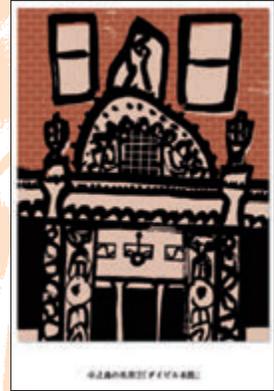
③水晶橋
2010年12月発行(第29号)

昭和4年(1929)に完成した歩行者専用橋。「堂島川可動堰」の役割もあるが周囲の美観を損ねないデザインが見事。北岸にある「中之島ラフ・セントラル」からの眺めは絶品です。



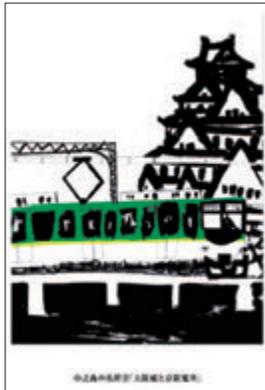
⑤木津川橋
2012年6月発行(第47号)

かつては大阪府庁も市役所もあった江之子島と、外国人居留地のあった川口を結ぶ橋が木津川橋。後方のアーチは昭和橋。enocoや中之島漁港など、この界隈も様変わりました。



⑦ダイビル本館
2013年9月発行(第62号)

『月刊島民』は最初の1年間、ダイビル(旧館)で編集をしていたので思い出深い復活の号でした。ファサードも外観も旧館とほぼ同じ顔。背後の超高層ビルが時代の流れを感じさせる。



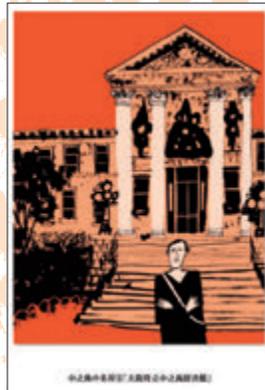
②大阪城と京阪電車
2010年9月発行(第26号)

大阪の陣400周年を過ぎても世界からの来場客が増える一方。お城はあえてモノトーンにし、京阪電車で鮮やかなコーポレートカラーをのせているあたりはデザイナーの技ですな。



④北新地
2011年10月発行(第39号)

『大阪アースダイバー』の中沢新一先生がなんと!北新地に登場した号の表紙がこれ。きりっとした黒服よりも足の綺麗なホステスさんよりも、やっぱり新地は着物のママさんです。



⑥大阪府立中之島図書館
2013年4月発行(第57号)

明治37年(1904)3月開館。人類が空を飛んだ歴史とほぼ同じ歳月を生きてきた大阪近代建築の華はこの春リニューアルが完了します。隣の中央公会堂とは背中合わせの、こちらは西向き。



⑧御堂筋
2013年12月発行(第65号)

企業跡地にタワーマンションやお店が出来、マルシェやピクニックが定着したりと、旧来のオフィス街とは違った動きが加速している御堂筋。欧陽菲菲や上田正樹の歌から40年経ちました。

●ココで扱ってます!

公会堂ショップ 北区中之島1-1-27 中央公会堂B1 10:00~18:00 第4火曜休 ☎06-6208-2002
いちびり庵道頓堀店 中央区道頓堀1-7-21 中座くだおれビル1F 10:00~20:00 無休 ☎06-6212-5104

※毎月のナカノシマ大会会場や月刊島民プレス(北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F 140B内)でも、そしてナカノシマ大学HPオンラインショップ(<http://www.nakanoshima-univ.com/store/>)でも販売。取扱店も募集中です。詳しくはこちらへ。☎06-4799-1340(平日10:00AM~6:00PM)

月刊島民&ナカノシマ大学を 熱烈サポートしてくださるあなたへ

1 絶対に取り逃すことのない、定期購読をぜひ!

フリーマガジンの月刊島民はP19の駅や施設、お店で配布されていますが、号によってはあつという間になくなる場合もあります。とくに今年は100号イヤーで強力特集目白押しなので、必ずあなたの手元に届く「定期購読」をぜひお薦めします。

定期購読
2,400円

(次号4月発行の93号～2017.3月発行の104号)
ささやかながら、3月中に定期購読をお申し込みの方に、P12-13のポストカードのうち1枚をプレゼント。希望の絵柄をご記入のうえ郵便振替でお申し込みください。月刊島民プレスやナカノシマ大学会場でも受け付けています。



2 中之島と周辺なら、月刊島民の広告は効く!

『月刊島民』がナカノシマ大学を開催していることもあって、中之島とその周辺での講座やイベント、街歩き、マルシェ、バルなどのスケジュール告知をこれまでも広告として何度も掲載してきましたが、「月刊島民を見て来た」人が実に多く、主催者の方々から絶大なる支持をいただいています。

広告は、広告主（または広告代理店）様からそのまま印刷用データをいただく場合もあれば、月刊島民編集部で広告ページを制作する場合があります。「一度、島民に出してみようかな」「広告のことも聞いてみたい」という時に、ぜひお電話くださいませ。☎06-4799-1340（平日10:00AM～6:00PM）

● 広告料金（中面）

※サイズは天地×左右mm（消費税別）

1P (242×182)	250,000円
1/2P (104×158)	130,000円
タテ1/3P (214×52)	90,000円
トウミン月報特殊枠 (68×75)	70,000円

笑う落語の大阪 第二十四回 高島幸次

小学校学習指導要領は、日本史で学ぶべき人物42名を例示するが、そのうち女性は「卑弥呼・紫式部・清少納言」のたった3名だけだ。教科書では、北条政子・与謝野晶子らが追加されているとはいえ、それ以上に男性も増えているから、女性の比率はさらに低くなる。

では、江戸時代の男社会に生まれた落語ではどうか。喜六・清八（江戸では、熊五郎・八五郎）らの男中心の社会が舞台ではあるが、女房のお松やお咲も、実に魅力的に活躍する。男性だけで展開していく教科書の江戸時代とは大きな違いだ。

『船弁慶』では、喜六が女房のお松に内緒で、難波橋付近へ船遊びに出掛ける。偶然にそれを見つけたお松は、小船で夫の船に横付けし、喜六を責め立てる。決して、夫の隠れ遊びに泣き寝入りはしない。この夫妻に男尊女卑は通用せず、憲法24条「夫婦が同等の権利を有する」を先取りしているようだ。

『堪忍袋』のお咲は、自身で縫った堪忍袋に「ご飯食べたらポロポロこぼしやがって…、オシッコした

らポロポロこぼしやがって、こぼさんと、よおせんのか！ この残尿親父！」と悪態をつく。嫁姑で悩んでいる隣町のお春さんも、袋を借りると「糞婆あー死ね！」と大絶叫する。繁昌亭でこの斬を聞いた私は、その日の夜、我が家の押入れに堪忍袋が隠されてはいないかと思わず探したものだ。

歴史の女性、落語の女性。

んのお花は、旦那との心中を巡って騙し合う。その丁々発止のやりとりをみると、これっぽっちも負けてはいない。貞淑なお手掛けさんの面影は全くない。

3月天神寄席ゲストの玉岡かおるさんは、あまり有名ではなかった女性を主人公にした小説で、その後の評価を一変させて来られた。玉岡さんのお松、お咲評を聞きたいものだ。

たかしまこうじ
大阪大学招聘教授、追手門学院大学客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

女は強し、男はたじたじ(?)な三月寄席。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。3月は女性が主役の華やかな落語が出そう。

慎ましやかと思いきや、男性顔負けの知恵を巡らせ、笑顔を切る女たちが面白い。ゲストは「負けんとき」「お家さん」など、たくましく生きる女性たちを描いた作品に定評がある、作家の玉岡かおるさんだ。

●3月のお題は「女性」
3月25日(金)

「むっかり優いん」おなごはん

落語/林家染太「堪忍袋」

桂あやめ「男装エレジー」

桂枝女太「猿後家」

旭堂南海「山内・豊の妻」

桂文喬「星野屋」

鼎談/おなごはんの履歴

玉岡かおる(作家)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

桂春之輔

『天平の女帝 孝謙称徳』を上梓したばかりの玉岡かおる先生に、上方の女性像をお聞きしよう。

桂文喬さんによる「星野屋」に計算高いのか、これも女性らしさ？

イラスト/フジワラトモコ



ナカノシマ大学で前売り券をかうとお得！

「天神寄席の前売りチケットをナカノシマ大学で買うと、2300円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウエラ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日/3月25日(金)
開催時間/6:30PM(開場6:00PM)/受付開始5:45PM

受付料/2300円(通常)・前売2500円/当日3000円

支払い方法/当日5:45PMより、繁昌亭前に仮設の「ナカノシマ大学受付」にて精算。

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP15を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340(平日10:00AM~6:00PM)

花見シーズンに寄せて。

船で歴史を遊ぶ。

この季節になると思い出すお客様がある。3年ほど前に「芹沢鴨の足跡をたどって大阪の川を遊覧してみたい」といらっしやった女性グループ。棧橋で迎えると「ちよつと準備が」と皆さん揃いの例の水色のやつをスツと羽織って、真っ赤な「誠」の旗も登場して「写真撮っていただきたい良いですか」。さらに「差し入れです」といたいたいにおにぎりは笹の葉で巻いてあり、「土方さんが好物だったたくあんは外せないですよ!」と。これだけ船上の演出が行き届いていると、現代の風景に痕跡がほとんど見えなくても「この辺りから曾根崎川が枝分かれしていたはず」と言うだけで、なんだか盛り上がる。私もすっかり乗って



しまい、「船長さんもよかったら」と勧められた羽織をお借りして記念撮影していただく始末。完全にこちらが楽しませてもらったのだった。さて今年は何を着たらいいのだろう。いや服装から入らなくてもいいか。

船でお花見、上級編。

さて、船遊びではダントツ人気のお花見シーズンがやってくる。船からのお花見のごく私的な、かなり細かい鑑賞のポイントをご紹介します。

まず日程。開花してすぐは淡い紅色、満開に向かって白くなっていく。水辺は明るいのので、個人的には陸で見るより白く感じる。満開の迫力も素晴らしいけれど、5分咲きくらいの色合いが絶妙で捨てがたい。

そして時間帯。やっぱり満潮の時間帯が良いように思う。大阪都心の河川は、大潮小潮によっても違うが、干満差が1.8mくらいある。目線の高さに桜の枝がやってくるような場面が出てくる。

いずれにしても、混み合う陸上を抜けだして船に乗れば、座っているだけで、桜が向こうから近づいてくる。大小様々な船が出るので、これを機会に水上の楽しさを味わっていただきたい。



桜もいいけど、普段もいい。

たくさんのお客様を迎えるこのシーズンは「桜以外は、普段見るものないんでしょ」と言われてしまうことも多い。そこで、あえて改めて「桜もいいけど、普段もね」というところもお伝えしたい。

例えば、桜の直後の新緑は私の一番好きな季節であり、鮮やかな緑は本当に薫る。夜の橋梁のライトアップは年中楽しめる。そんな船の「外側」のものも飽きがないし、先に紹介した新撰組ファンの方々のような、船の「内側」から楽しむ、という方法も合わせ技で用意すれば、楽しみがふくらむ。

私たちも船上茶会や朝ごはん付き、といったものを用意しているが、そんな大仰なものでなくても、近くのレストランを船上で楽しむだけで、ずいぶん贅沢感が出る。大阪が登場するドラマが何かと話題だが、そういった小説、史実、映画などのネタをちよつと仕入れておくだけでも、想像力が羽ばたいて楽しい。



中野弘巳(御舟かもめ船長)
なかのひろみ 定員10名の小さな遊覧船「御舟かもめ」船長。「かもめクルーズ」は3月25日から毎日運航。乗り合いのクルーズのほか、貸切や農園朝食つきクルーズも。
<http://www.o.tune-camome.net>

2016年3月1日発行



島民の春は川開きから!



山開きや海開きがあれば、水都大阪には「川開き」がある。また、春は船遊びが特に楽しい季節だ。京阪電車・天満橋駅近くの船着場「八軒家浜」では、川開きをお祝した「ほ

ちけんやお花見フェスタ」が開かれる。川沿いの桜並木をバックに、川や船が主役の遊びを試してみよう。大小の船が集まるオープニングセレモニーを皮切りに、

水都大阪 川開き2016「はちけんやお花見フェスタ」

期間/3月26日(土)~4月10日(日) ※プログラムによって開催時間や参加料金は異なる
会場/八軒家浜・川の駅はちけんや 問い合わせ/ ☎06-6942-0555(にぎわいXing)
<https://www.facebook.com/NigiwaiXing>

約2週間の開催中は、日によって実施プログラムが変化する。川面ではボートに乗って移動する「ヌガサップ」、川沿いはバーサイドヨガやフルディック・ウォークといった水陸スポーツが楽しめる。ほか、週末なら、気軽にテイクアウトできてお花見兼ピクニックにぴったりなキッチンカーに、こだわりの食材が集まる「天下の台所・八軒家浜市」が登場する。ゆったり過ごしたいなら、「大川さくらクルーズ」に乗船を。かもめ船長が教える桜の鑑賞術(P16)を試すチャンスだ。(江口由夏・本誌)

堂島の長い歴史を知る地域誌完成! お披露目イベントも開催

中之島の対岸である堂島は、地名の由来が1400年以上も前にさかのぼるとい説もあるなど、大阪で最も古い歴史を有する場所の一つ。その堂島の歴史を追った地域誌「堂島千四百年の歴史」が発行される。古代から現代まで、街がどのように変わってきたのかを概観すると共に地図や地名や人口の移り変わりが詳述されており、ひと味違った歴

史解説になっている。

また、近世における堂島お

買って食べて遊べる テーマパーク的朝市

大阪市中央卸売市場の目と鼻の先で開催される「ざこばの朝市」が、この3月で23回目の開催を迎える。「ざこば」といえば、江戸時代の大阪三大市場のひとつを連想するが、それも当然で、大阪の食を支えていた魚市のにぎわいにあやかっって命名されたもの。実際の雑喉場や、雑喉場魚市場や天満青物市場が吸収されて開業した大阪市中央卸売市場にほど近い会場にも縁を感じる。当日は魚にとどまらず、旬の野菜や果物を販売する屋台



が、安治川沿いの遊歩道に並ぶ。食材だけでなく、その場で食べられる串や汁物といった料理のバラエティが豊かなのも、この朝市の特徴だ。また、買う以外にも、マグロの解体

第23回「ざこばの朝市」
日時/3月27日(日)
8:00AM~2:00PM
※3・5・9・11月の最終日曜日開催予定・雨天決行
会場/大阪シティ信金ロード(野田南緑道) ※入場無料
問い合わせ/ ☎080-4426-7448 (ざこばの朝市事務局)
<http://zakoba-asaichi.com/>

なく地域誌が配られる。この他に3月19日(土)には、堂島や北新地をめぐる解説付きの街歩きイベントも予定されている。(大迫力・本誌)

左/堂島の地名の由来に関わると言われる堂島薬師堂。右/堂島米市場跡に建つ記念碑。

堂島地域誌お披露目イベント
日時/3月10日(木) 2:30PM~4:50PM
(開場2:00PM~) 懇親会:5:00PM~7:00PM
会場/新ダイビル 4階 会議室1
講演/高島幸次「堂島が(島)だったころ」
参加費/無料(懇親会:飲食代3,000円)
定員/150名(懇親会:50名) ※共に先着順
申し込み締め切り/3月6日(日)
申し込み/氏名・住所・人数を明記し
doujima@dan-dan.comへ送信

「今日はコチが入ったので、お客さんには刺身で食べていただきます」と、聞き慣れない魚の名前をさらりと口にする店長の榊井数也さん。アンコウに似た見た目のコチは、フグのような薄造りにすると美味なのだ。めったに獲れないためにほとんどが漁港近くで消費され、都心の料理屋でお目にかかることは稀だ。地産地消的な魚といえる。

ほかに「オトク」に「ババア」と、なぜこの「遊遊」に珍しい魚が集まってくるのかといえは、日本各地の漁港から朝獲れの魚が直送されているから。当初は拠点で



鳥取県の境港や神戸の垂水港直送の魚が味わえる、シャリ玉を添えた造り盛り合わせ1,391円。この日はスズキ・マグロ・ビウオ・サワラ・クロダイ。冷やした竹筒酒(1.5合970円)を合わせて。

産地の想いを届ける料理。

【旬魚旬菜 遊遊】 ●海鮮和食

ある大阪に比較的近い港を頼っていたが、産地のネットワークは年々広がり、今や北海道から鹿児島まで提携先がある。現地に足を運ばずとも、津々浦々の食材が店舗で味わえる仕組みだ。近年では、地産地消の捉え方も変わってきた。地元で地元の食材を消費するだけでなく、遠い地の消費者に生産者の顔や手がけている食材を知ってもらうこと。「遊遊」は、その橋渡し役を担っている。

各地からは海鮮だ



「これからはアスパラガスや菜の花といった野菜が美味しくなりますよ」。この季節感がメニュー作りに反映され、島民は都会の真ん中で春の訪れを知ることができるのだ。

す。野菜が主役のメニューもどんどん考案していきたいですね。地産地消という考え方は、食材の旬も大きなカギになる。春夏秋冬で更新される宴会メニューは人気が、出会いと別れの季節である春は特に力の入れどころ。

けでなく、農林水産大臣賞を受賞した卵や有機野菜が届き、オープン前の店内はちよつとした市場のようになる。「到着する顔ぶれは日替わりなので、相性がいい調理方法を考えるのは大変ですが、楽しい仕事でもありますよ」と榊井さんは話し、食材に向き合っている「本日のメニュー」を作る。「私を含め、野菜ソムリエの資格者が店が増えてきたので

旬魚旬菜 遊遊

●中之島フェスティバルタワーB1F

人気の宴会コースは、飲み放題付きで3,480円～。スタッフが産地まで足を運んで厳選した、山や海の食材がバランスよく盛り込まれている。店内は個室や掘りごたつ席もあり。ランチタイムには、ボリュームたっぷりの「中之島御膳」。愛媛県の「美豊卵」を使った親子丼(799円)なども。☎06-6226-1711 11:00AM～10:00PM(ランチL.O.は2:30PM)



祝祭へようこそ。

FESTIVAL
PLAZA

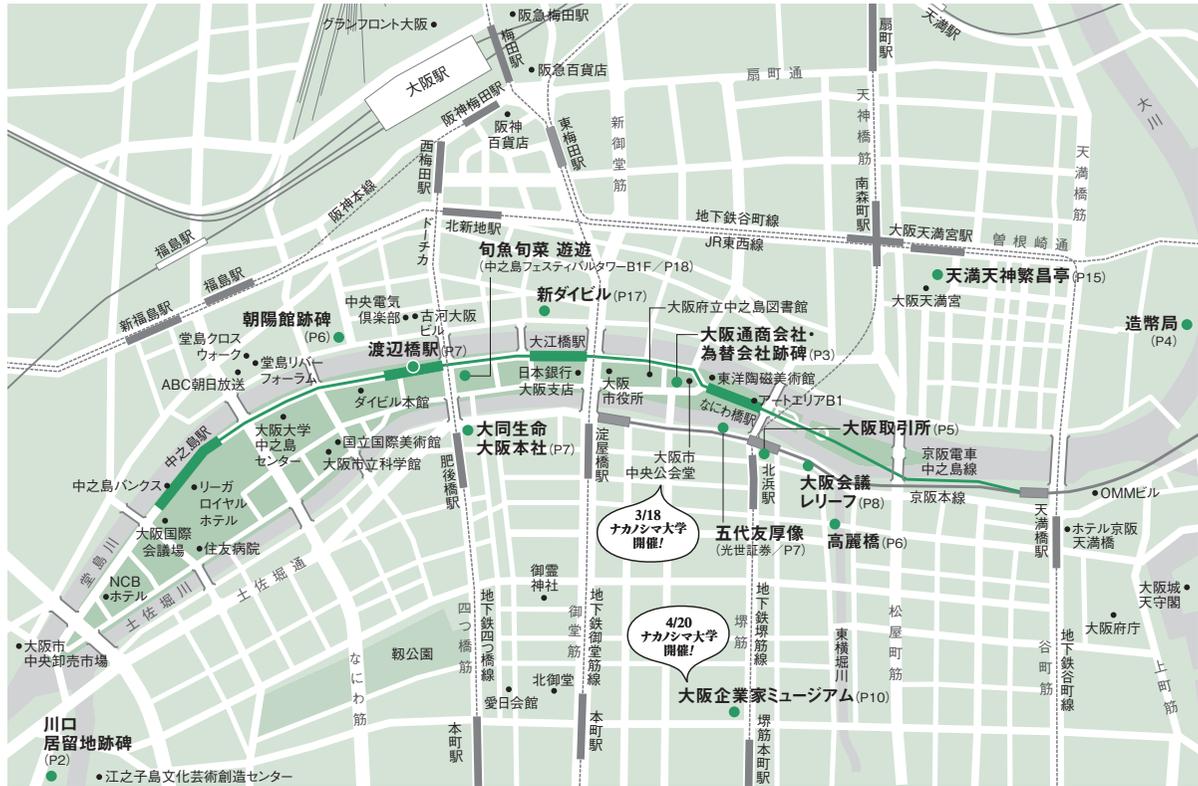
<http://festivalplaza.jp/>

提供/株式会社 朝日ビルディング



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店/グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/梅田ヒルトンプラザ店/天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 ライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティアカデミー/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦名神社/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス 【店舗・医院など】アールドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前焼料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オー)/カセット/喫茶カウンター/喫茶SAWA/グランドシート中之島/黒門さかえ/コマコフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアトルベストコーヒー新聞ビル店/じろう亭/Girond's J.R./心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャノ/バスターレー/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 水嶋書房 千早はるもろ店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社会学連携事務室/大阪大学 21世紀偉徳堂/大阪大学本部/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆったりんこ/連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンソノ/百練/奈良県立図書館情報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルーエ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(荏原中延)/ONLY FREE PAPER(渋谷)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 大阪城の「本物」。

大阪のシンボルとして、誰もが知る大阪城。
本物の櫓、本物の石垣、本物の資料。大阪城が誇る数々を、体感しよう。

●『月刊島民』vol.93は2016年4月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

宇治茶 × おけいはん

UJICHA OKEIHAN



お茶を待つ時間も、味わいです。

なるほど、達人。

【今回の達人】中村 藤吉
宇治の地で約160年つづく茶商
「中村藤吉本店」の六代目。
お茶スイーツやカフェで
新たな宇治茶人気を創出。

中村藤吉本店 / 出町柳 けい子

いい香りに誘われて、宇治の駅からお茶の老舗へ。

出会ったのは、宇治茶の魅力を引きだす達人、中村 藤吉さん。
お茶スイーツからお茶の挽き方、おすすめ店まで、
宇治の街ごとお茶を楽しむ心得を教わりました。
くわしくはwebマガジンを見てくださいね。

めざせ！ 沿線の達人

web マガジン《宇治茶編》公開中！ >>> www.okeihan.net  
京阪電車主要駅のチラシもご覧ください。



京阪の
おけいはん、
人。